



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年7月28日

上場会社名 株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ 上場取引所 東  
 コード番号 5726 URL <http://www.osaka-ti.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)西澤 庄藏  
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)古木 光次 (TEL) (06)6413-3310  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日~平成23年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	12,062	88.9	1,671	—	1,485	—	835	—
23年3月期第1四半期	6,384	△22.6	△537	—	△711	—	△983	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	22 71	—
23年3月期第1四半期	△26 72	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	125,191	41,519	33.2
23年3月期	125,488	41,049	32.7

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 41,519百万円 23年3月期 41,049百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0 00	—	10 00	10 00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	15 00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 平成24年3月期末の配当予想は未定です。

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,100	108.0	2,900	—	2,700	—	1,700	—	46 20
通期	67,500	100.0	7,000	—	6,500	—	3,800	—	103 26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他(詳細は、【添付資料】P.4「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。)

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	36,800,000株	23年3月期	36,800,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	1,194株	23年3月期	1,194株
----------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	36,798,806株	23年3月期1Q	36,798,867株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、東日本大震災の影響で生産・消費が落ち込み、サプライチェーンの復旧により回復基調にありますものの、原子力発電の再稼働の遅れによる電力不足、海外経済の減速懸念及び政策停滞リスクもあり、先行きは不透明な状況にあります。

当社事業につきましては、チタン事業では、輸出向けにおいて既存航空機の生産好調や新型航空機の納入開始見込みを受けて需要は引き続き増加基調で推移いたしました。また国内向けでも、海外の電力・産業プラント用の需要回復や海水淡水化プラント用の需要増により販売量は大きく増加いたしました。このような状況を受け、生産面では顧客の追加要請に応えるべく能力増強工事の前倒しに努めております。この結果、チタン事業の売上高は7,895百万円(前年同期比73.6%増)となりました。

ポリシリコン事業では、半導体需要が堅調に推移する中、岸和田工場が4月から本格稼働するとともに尼崎工場でも年産900トンから1400トンへの能力リカバリー工事が完成・戦力化したことにより生産・販売数量が大幅に増加いたしました。この結果、ポリシリコン事業の売上高は3,351百万円(前年同期比203.8%増)となりました。

高機能材料事業では、半導体需要の堅調を背景に高純度チタンの販売数量が増加したため、売上高は815百万円(前年同期比11.0%増)となりました。

以上の結果、当第1四半期の売上高は12,062百万円(前年同期比88.9%増)、利益につきましては、営業利益1,671百万円、経常利益1,485百万円、四半期純利益835百万円となりました。

なお、今後の動向につきましては、販売環境面でこれまで堅調であった半導体需要に一部不透明感が出て来ております。一方生産面では現在電力会社の要請を受け全社を挙げて節電に取り組んでおります。現時点では生産への影響は出ておりませんが、今後電力需給が更に悪化した場合、一段の節電対応が必要となる可能性もあります。

(参考)

(単位：百万円)

		当第1四半期	前年同期	増減率(%)
チタン事業	国内	4,825	2,321	107.9
	輸出	3,069	2,225	38.0
	計	7,895	4,546	73.6
ポリシリコン事業		3,351	1,103	203.8
高機能材料事業		815	734	11.0
合計		12,062	6,384	88.9

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

① 資産

当第1四半期末の総資産の残高は、125,191百万円と前事業年度末と比べ297百万円減少いたしました。これは、棚卸資産が増加したものの、減価償却により有形固定資産が減少したこと及び消費税の還付により未収入金が減少したことが主な要因であります。

② 負債

当第1四半期末の負債の残高は、83,671百万円と前事業年度末と比べ767百万円減少いたしました。これは、買掛金及び短期借入金が増加したものの、設備関係支払手形、設備関係未払金及び長期借入金が増加したことが主な要因であります。

③ 純資産

当第1四半期末の純資産の残高は、41,519百万円と前事業年度末と比べ470百万円増加いたしました。これは、配当金の支払による減少があったものの、四半期純利益により利益剰余金が増加したことが主な要因であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成23年4月27日発表の第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ①一般債権の貸倒見積高

前事業年度末に算定した貸倒実績率と著しい変動がないと認められるため、当第1四半期末において、前事業年度の財務諸表作成で使用した貸倒実績率を用いて算定しております。

#### ②棚卸資産の評価方法

前事業年度末の実地棚卸高を基礎として継続記録法により棚卸高の算定をしている棚卸資産については、当第1四半期末の実地棚卸を省略しております。

#### ③税金費用

年間の税引前利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しましては、前事業年度に対し一時差異、経営環境等に著しい変化がある場合においてはその影響を加味しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間末 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,604	5,146
受取手形及び売掛金	13,617	13,647
商品及び製品	4,650	7,019
仕掛品	2,627	3,288
原材料及び貯蔵品	3,759	4,161
その他	3,981	2,830
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	34,240	36,091
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	15,817	15,675
機械及び装置（純額）	51,792	50,969
土地	16,279	16,279
建設仮勘定	2,456	1,846
その他（純額）	1,432	1,460
有形固定資産合計	87,778	86,231
無形固定資産	821	796
投資その他の資産	2,648	2,071
固定資産合計	91,248	89,099
資産合計	125,488	125,191

(単位：百万円)

	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間末 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,173	6,528
短期借入金	9,400	18,900
リース債務	1,066	1,073
未払法人税等	24	22
賞与引当金	412	107
設備関係支払手形	1,254	769
設備関係未払金	15,647	5,818
その他	769	1,507
流動負債合計	33,748	34,728
固定負債		
長期借入金	45,450	43,950
リース債務	2,511	2,240
退職給付引当金	1,172	1,196
資産除去債務	1,144	1,150
その他	411	405
固定負債合計	50,690	48,943
負債合計	84,439	83,671
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,739	8,739
資本剰余金	8,943	8,943
利益剰余金	23,498	23,966
自己株式	△9	△9
株主資本合計	41,171	41,639
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	116	115
繰延ヘッジ損益	△238	△234
評価・換算差額等合計	△121	△119
純資産合計	41,049	41,519
負債純資産合計	125,488	125,191



(2) 四半期損益計算書

【第1四半期累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	6,384	12,062
売上原価	5,864	8,991
売上総利益	520	3,071
販売費及び一般管理費	1,057	1,400
営業利益又は営業損失(△)	△537	1,671
営業外収益		
受取利息及び配当金	2	3
不用品売却益	19	22
受取賃貸料	9	10
補助金収入	94	92
助成金収入	22	39
その他	9	15
営業外収益合計	157	183
営業外費用		
支払利息	130	144
為替差損	121	219
休止固定資産減価償却費	77	—
その他	2	4
営業外費用合計	332	369
経常利益又は経常損失(△)	△711	1,485
特別損失		
固定資産除却損	39	77
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	264	—
操業停止損失	587	—
特別損失合計	891	77
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△1,603	1,408
法人税等	△620	572
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△983	835

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。